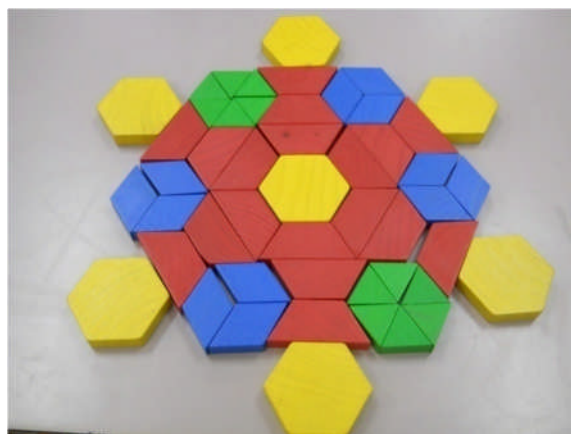
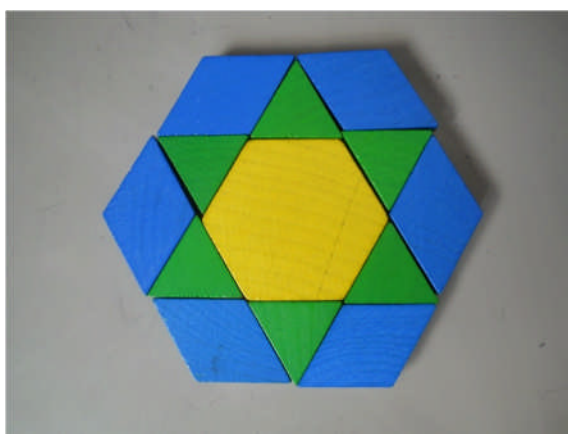


活用事例報告書（パターンブロック）

東京都公立M小学校

6年 対称な図形

線対称や点対称について学習した後、発展的な活動として、取り組んだ。実際に、パターンブロックで自由に形作りをさせると対称な形を作ろうと言わなくても自然に作っていることがある。その作品を価値付けてあげることによって、子供たちの図形に対する見方も変わってくるように感じた。



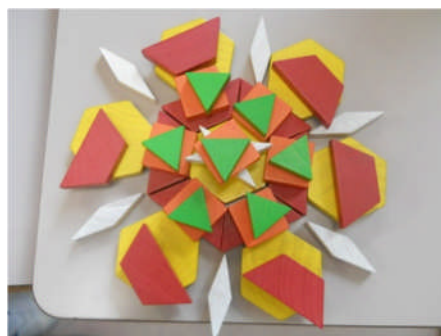
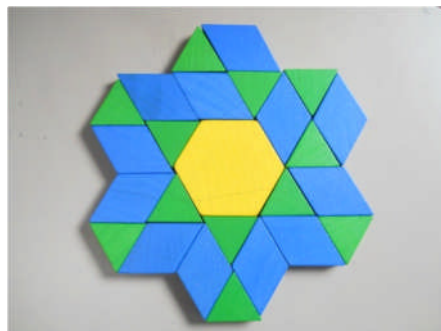
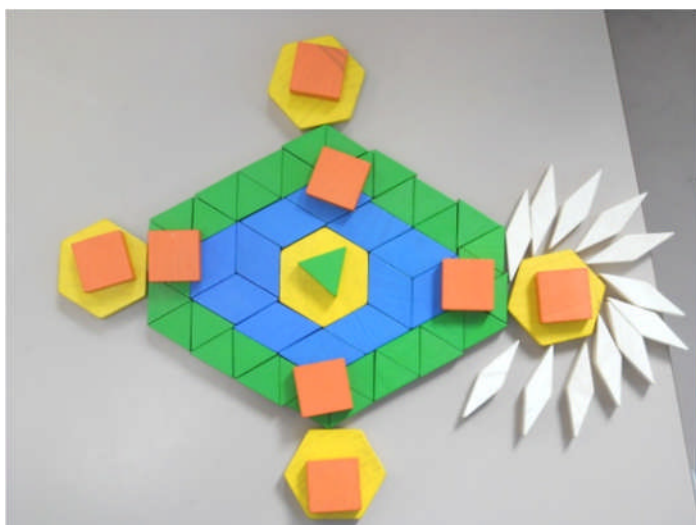
全学年 教室おきの遊び道具として

本校は、新校舎建設のため、校庭が使えず、子供たちの休み時間の過ごし方に制約がある。トランプやかるたなどカード類を用意していたが、次第に飽きも生じてきた。そこで、一つの遊び道具としてパターンブロックを各クラスに1～2セットを常設し、身近なものとして扱ってもらうことにした。友達同士で、思い思いに作品作りに没頭し、良い作品ができると「写真にとってよ、せんせい!」と言ってくる子も。作品が集まったら、スライドショーで鑑賞会をして楽しんだ。



2年 ふれあい集会（子供祭り）で出店

ブロック遊びをみんなにも楽しんでほしいということで、自分たちで作ったモデルの形にレベルを付け、その形に作る活動をお店として出品した。準備では、まずモデルの形作りに取り組み、その中から難易度順にレベルを付けていった。さまざまな学年クラスの友達や先生方に楽しんでもらうことができた。



2年 さんかくをつくろう！

いろいろなピースを使って、「できるだけ大きくて、きれいなさんかくをつくろう！」という課題を提示し、取り組ませた。黒板に教師用のパターンブロックで例示し、グループごとに協力して作った。「きれいに」という課題に対して、2年生なりに対称的なかたちをつくることができた。

